

◆歩行者・自転車・バイク事故の根絶◆

- 歩行者がいないかと、意識して安全確認
- 一時停止の場所では完全停止
- 歩道を横切るときも、一時停止が義務
- バイク発見時は、距離が「近いかも」と考える

◆構内・バック時の事故防止◆

- 構内でも、運転中は運転に集中し、わき見はしない
- 作業のこと、荷物のことを考えるのは、停車の後にしましょう
- バック進入路、シャッター、他車の有無などを一旦停止し、自分の目で確認
- 自車の後方の状況を把握せずには、バック出来ない
- 必ず、一旦降りて、後ろの状況を、自分の目で確認

『当たり前』のことが一番大切
仕事に出かけて、『無事に帰ってくる』…、そして、『ただいま』と家のドアを開ける

◇ディ・ライトで知らせよう…自分の存在、はみ出し、正面衝突事故防止◇

スピードは出でていないか

見落とすな！ 『一時停止の標識』 確実な『一時停止』と左右の安全確認

車間距離を十分に！ 追突を未然に防止

「事故をしなければ…大丈夫だろと思った」

巡査長が飲酒運転 電柱に衝突事故、懲戒免職処分
◇違反だと…分かってやつて、『飲酒運転』 「飲酒運転は事故でなく犯罪」 ◇

2018.4.19 17:45

警察は19日、先に道交法違反（酒気帯び運転）の疑いで逮捕した男性巡査長（32）を懲戒免職処分にした。先月29日に道交法違反罪で簡裁から罰金50万円の略式命令を受け、即日納付していた。巡査長は3月19日午前4時過ぎ、乗用車を酒気帯び運転し、電柱に衝突する事故を起こした。前夜に友人宅で酒を飲み、眠った後に車で帰宅する途中だった。「事故をしなければ大丈夫だろと思った」と供述したという。

右から横断の小学生が車にはねられけが 運転手逮捕

◇右からの横断歩行者に注意しましょう◇

2018/4/20(金) 0:14

19日午後6時前、鹿児島県の国道で道路を横断していた近くに住む6歳の小学1年生の男子児童が、左から来た軽乗用車にはねられました。警察は軽乗用車を運転していた男を過失運転傷害の疑いで、無職の男性容疑者（52）を現行犯逮捕しました。男子児童は頭や足などにけがをし、病院に運ばれ手当てを受けています。現場に信号機はなく、近くに2つ横断歩道がありますが、男子児童は2つの横断歩道の間を渡っていたということです。警察の調べに対し容疑者は「児童に気づくのが遅れた」と話しているということです。

新聞配達の原付バイクをはねて死亡させ

救護せず、逃げた 31歳男逮捕

2018/4/20(金) 0:33

19日午前5時過ぎ、福岡の県道で軽乗用車を運転中、原付きバイクで新聞配達中だった、アルバイトの男性（65）をはねて死亡させ、そのまま逃げた、無職の男性容疑者（31）を自動車運転処罰法違反（過失致死）と道交法違反（ひき逃げ）容疑で、警察は緊急逮捕した。

バスとワゴン車が正面衝突、18人重軽傷

◇ディ・ライトで知らせよう…自分の存在、はみ出し、正面衝突事故防止◇

2018/4/20 01:05

19日午後4時25分ごろ、山梨県で、12人乗りのワゴン車と30人乗りの観光バスが正面衝突した。ワゴン車を運転していた男性（52）と同乗の2人が頸椎や腰の骨を折るなどの重傷を負ったほか、ワゴン車の8人とバスの乗客7人が打撲などの軽傷。警察によると、ワゴン車には11人が乗車。バスは、会社員の男性（71）が運転、ガイドと観光客28人が乗っていた。

クレーン車が転倒 トランク直撃、電柱も

2018/4/18(水) 17:04

愛知県で、解体作業中のクレーン車が突然倒れ、トランクや電柱を押しつぶしました。けが人はいないということです。そのアームは、駐車スペースのトランクを直撃、運転席の部分を押し潰し、電柱をなぎ倒しています。そして、先端部分は、住宅のブロック塀にまで。事故があったのは、パチンコ店の解体現場で、18日午後2時頃、35トンのクレーン車が、アームを伸ばしたまま突然倒れました。また、現場のすぐ近くには交通量の多い国道があり、倒れる方向が違っていれば、さらに被害が拡大した恐れがあります。